



ナイストライ

平成30年度 第10号
瓜生小学校校長室だより
H31.2.1 (発行者 田中)

避難訓練 (不審者からの避難)

1月22日(火)に、不審者侵入に対応する訓練を行いました。今回は女性が保護者になりすまして児童に接触を試みるという想定で行いました。初見では凶器も見られず、静かな物腰だったので通報の判断が難しかったわけですが、会話から矛盾を感じ取り、不審者の侵入と判断することや、児童との接触を阻止することへの対応の仕方を確認することができ、いい訓練となりました。

訓練後は、小浜警察署署員から、不審者からの身の守り方として、“いかのおすし”を教えてくださいました。また、不審に思うことがあったら、先生や家族に知らせるように話されました。子どもからの不審な人物や車の話等、気になることがあれば、学校に連絡をよろしくお願いします。



校長のつぶやき

今年度から小学校では道徳が、「特別な教科 道徳」として教科化されました。これまでの道徳は、昭和33年に設けられたとのことです。今回の改正は、いじめ問題への対応の充実や発達の段階をより一層踏まえた体系的なものとするのをねらっているそうです。「特別な教科 道徳」で、よりよく生きていくための資質・能力を培うことが求められています。しかし、このことは週1時間の「特別な教科 道徳」だけで育成できるものではありません。

私は、どの子ども、①自分の良さに気づき自信を持つ ②他者(相手)のことを受け入れる ③集団の一員として努力する ことができる子になってほしいと願っています。私の頭には『異質のものに対する理解と寛容』という言葉が記憶として残っています。これは私が卒業した高校の理念で、新元号になろうとする今でもあてはまるものだと思います。昔と今では『異質のもの』の対象は違っているかもしれませんが、この精神は大切なことだと思っているからです。

道徳が教科化されたことで、評価を残す必要があります。しかし、国語や算数、体育のように、各学期に学んだことで、知らなかったことができるようになった、分かったといった内容で表せるものではありません。担任との個人懇談の中で、道徳の目標に関係した内容が話されたのではないかと思います。学校も家庭も子どもの健やかな成長を願っています。これからも両者が協力して教育活動が進めていくことができるように、ご協力をお願いします。

「子どもたちはこうして生き方を学びます」という表現があったのでお伝えします。○批判ばかり受けて育った子は、非難ばかりします。○心が寛大な中で育った子は、我慢強くなります。○励ましを受けて育った子は、自信を持ちます。○ほめられる中で育った子は、いつも感謝することを知ります。○思いやりのある中で育った子は、信頼を持ちます。○人にほめられる中で育った子は、自分を大事にします。○ひやかしを受けて育った子は、はにかみやになります。

2月の主な行事予定

- 5日(火) スキー教室(5・6年)
- 8日(金) 小学校新入生体験入学
- 11日(月) 建国記念の日
- 20日(水) 学校集金日
- 20日(水) ノーメディアデー～21日
- 23日(土) 学習発表会
- 23日(土) 瓜生地区手作り作品展
- 23日(土) 家庭地域学校協議会
- 25日(月) 振替
- 26日(火) 家庭学習強化期間～3/10
- 27日(水) PTA 広報委員会